

●態度・志向性

	到達目標	評価する態度	5	4	3	2	1
1	適切に自らを律して行動できる。	自己管理能力	適切に自らを律して行動できる。	ある程度自らを律して行動できる。	最低限自らを律して行動できる。	自らを律して行動しようとするが、適切でない。	自らを律して行動することができない。
2	適切に他者と協調・協働して行動できる。	チームワーク	適切に他者と協調・協働して行動できる。	ある程度他者と協調・協働して行動できる。	最低限他者と協調・協働して行動できる。	他者と協調・協働して行動しようとするが、適切でない。	他者と協調・協働して行動することができない。
3	適切に、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。	リーダーシップ	適切に、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。	ある程度、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。	最低限、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。	他者に方向性を示し、目標の実現のために動員しようとするが、適切でない。	他者に方向性を示し、目標の実現のために動員することができない。
4	自己の良心と社会の規範やルールに従って適切に行動できる。	倫理観	自己の良心と社会の規範やルールに従って適切に行動できる。	自己の良心と社会の規範やルールに従ってある程度行動できる。	自己の良心と社会の規範やルールに従って最低限行動できる。	自己の良心と社会の規範やルールに従って行動しようとするが、適切でない。	自己の良心と社会の規範やルールに従って行動することができない。
5	社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使しつつ、社会の発展のために積極的に関与できる。	市民としての社会的責任	社会の一員としての意識を適切に持ち、義務と権利を適正に行使しつつ、社会の発展のために積極的に関与できる。	社会の一員としての意識をある程度持ち、義務と権利を行使しつつ、社会の発展のために関与できる。	社会の一員としての意識を最低限持ち、義務と権利を行使しつつ、社会の発展のために関与できる。	社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を行使しつつ、社会の発展のために関与しようとするが、適切でない。	社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を行使しつつ、社会の発展のために関与することができない。
6	卒業後も適切に自律・自立して学習できる。	生涯学習力	卒業後も適切に自律・自立して学習できる。	卒業後もある程度自律・自立して学習できる。	卒業後も最低限自律・自立して学習できる。	卒業後も自律・自立して学習しようとするが、適切でない。	卒業後、自律・自立して学習できない。